

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

－ 応用編・水産業と地域活性化 －

2024 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

## 1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方で、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれからの成長産業として注目されています。

このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創成が求められるところであります。このため、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、昨年度の「基礎編・水産学概論」に引き続き、今回改めて「応用編・水産業と地域活性化」を開講します。

## 2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

## 3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することもあります。

## 4. プログラムの内容

### (1) 講座の構成

「愛媛大学水産人材育成講座」は、毎年度後半に開催する「基礎編」と毎年度前半に開催する「応用編」によって構成されています。「基礎編」は、水産学のほぼ全分野にわたる基礎的内容で、毎年ほぼ同じ講義を行います。「応用編」では、宇和海の水産業にイノベーションを起こすこと、水産業を中心として地域を活性化すること、などを考える講座を、毎年内容を一部更新しながら開催します。

今回は「応用編」の募集ですが、基礎編の受講の有無にかかわらず、応募可能です。

### (2) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和6年5月から令和6年9月の5か月間、毎月1回、第3土曜日に開催します。（※8月はお盆のため、第4土曜日に開催します。）
- ・ 講義は1コマ90分で、1回の講座あたり3コマ、計5回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ 毎月の講座内容とスケジュールは、別表のとおりです。



- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡して下さい。

## 6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

### (1) 受講手続期間

2024年4月15日(月)から4月26日(金)まで

### (2) 受講料

6,000円(高校生及びリピート受講生<sup>※</sup>は3,000円)

※リピート受講生とは、令和5年度前半の応用編までの水産人材育成講座を受講された方(修了の有無は問いません)をいい、令和5年度後半の基礎編のみ受講された方は除きます。

## 7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究(申込み動向の調査・分析等)を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

## ◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] [suisanc@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:suisanc@stu.ehime-u.ac.jp)

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

## ※ その他

今回の「応用編・水産業と地域活性化」のほか、10月～2月には「基礎編・水産学概論」として、基礎的な水産学の講義の開講を予定しております。

## ◀ 部門別・講座内容一覧 ▶

### 【Ⅰ. 水産学各論】

- 漁場環境を形成する海の流れ ―瀬戸内海・宇和海を中心に―  
愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆
- 新技術を用いた水産養殖イノベーション ―スマの次世代育種システム―  
愛媛大学南予水産研究センター 特命教授・センター長 松原孝博
- 水産対象生物の生理生態  
愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕
- 養殖魚の味と高品質化 ―品質評価手法の確立―  
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹
- 赤潮の発生要因と被害防止への対応  
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子
- 魚病をめぐる現状と対策  
愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登
- 宇和海の生産現場から  
株式会社神明水産 田中俊也

### 【Ⅱ. 地域活性化】

- 水産業を核とした地域活性化の事例  
愛媛大学南予水産研究センター 特任教授 竹ノ内徳人
- 漁業・水産業を軸とした過疎地域まちづくりの可能性  
愛南町水産課海業推進室 室長 浜辺隆博
- 元公務員Jターン新米漁師の水産・地域振興への挑戦  
愛媛県漁業協同組合三崎支所 素潜り漁師 尾崎健史
- 高知のはしっこ柏島 持続可能な里海づくり  
NPO 法人黒潮実感センター センター長理事 神田 優
- 地域活性化と起業 ―里山資本主義的発想―  
株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 松嶋匡史
- 魅せる魚食の戦略  
Food Design アトリエやの 代表 やのくにこ
- 漁村女性が取り組む「食のビジネス」  
東海大学人文学部 教授 関いずみ
- 水産業の成長産業化・スマート化で地域を元気に  
大東文化大学経済学部 特任教授 山下東子

#### ◇ 講座の特徴

- ・ 講座は、水産学各論と地域活性化の大きく2つの分野としております。
- ・ 水産技術では主に愛媛大学南予水産研究センターの教員が、地域活性化では主に外部の専門家が講義を行う予定です。

≪別表≫

毎月の講座内容とスケジュール（予定）

≪愛媛大学水産人材育成講座 ー応用編・水産業と地域活性化ー≫	
<p><b>5月18日(土)</b></p> <p>10:15～10:20</p> <p>10:20～10:30</p> <p>10:30～12:00</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p><b>【第1回講座】</b></p> <p>○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター 特命教授・センター長 松原孝博</p> <p>○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター</p> <p>○ 水産対象生物の生理生態 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕</p> <p>○ 魅せる魚食の戦略 Food Design アトリエやの 代表 やのくにこ</p> <p>○ 高知のはしっこ柏島 持続可能な里海づくり NPO 法人黒潮実感センター センター長理事 神田 優</p>
<p><b>6月15日(土)</b></p> <p>10:30～12:00</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p><b>【第2回講座】</b></p> <p>○ 漁場環境を形成する海の流れ ー瀬戸内海・宇和海を中心にー 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆</p> <p>○ 水産業の成長産業化・スマート化で地域を元気に 大東文化大学経済学部 特任教授 山下東子</p> <p>○ 赤潮の発生要因と被害防止への対応 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子</p>
<p><b>7月20日(土)</b></p> <p>10:30～12:00</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p><b>【第3回講座】</b></p> <p>○ 養殖魚の味と高品質化 ー品質評価手法の確立ー 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹</p> <p>○ 漁業・水産業を軸とした過疎地域まちづくりの可能性 愛南町水産課海業推進室 室長 浜辺隆博</p> <p>○ 魚病をめぐる現状と対策 愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登</p>
<p><b>8月24日(土)</b></p> <p>10:30～12:00</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p><b>【第4回講座】</b></p> <p>○ 漁村女性に取り組む「食のビジネス」 東海大学人文学部 教授 関いずみ</p> <p>○ 新技術を用いた水産養殖イノベーション ースマの次世代育種システムー 愛媛大学南予水産研究センター 特命教授・センター長 松原孝博</p> <p>○ 宇和海の養殖現場から 株式会社神明水産 田中俊也</p>
<p><b>9月21日(土)</b></p> <p>10:30～12:00</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p><b>【第5回講座】</b></p> <p>○ 地域活性化と起業 ー里山資本主義的発想ー 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 松嶋匡史</p> <p>○ 元公務員Jターン新米漁師の水産・地域振興への挑戦 愛媛県漁業協同組合三崎支所 素潜り漁師 尾崎健史</p> <p>○ 水産業を核とした地域活性化の事例 愛媛大学南予水産研究センター 特任教授 竹ノ内徳人</p>

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。

愛媛大学水産人材育成講座 一応用編・水産業と地域活性化一  
受講申込書

受付番号

※受付番号は記入しないでください。

フリガナ			生年月日	昭和・平成 年 月 日	
氏名			性別	男・女	
住所 〒					
電話番号 (自宅等)	( ) -	電話番号 (携帯)	( ) -		
Eメール					
職 歴 (書き切れない場合は別添)					
年・月	勤務先・部署名・役職等				
学 歴 (書き切れない場合は別添)					
年・月	学校名・課程名等				
申込理由					
リピート受講の有無 (有・無)	平成	年度受講	/	令和	年度受講
※過去に受講した年度をご記入ください。覚えていない場合は未記入でも構いません。					